

サポートRST

号外②

令和 3 年 7 月 1 日発行
作成・発行：相馬市教育委員会

「リーディングスキルテスト（RST）」の視点で「読解力」を向上させます

よくご質問いただく内容で多いのが、「今までの『読解力』と新しい『リーディングスキル（RS）』の関係がよくわからない」というものです。「読解力育成」の理由や経緯等の詳細は、前回ご紹介いたしました『リーディングスキル向上 実践事例集』をお読みください。ここでは、「読解力」と「RS」の関係について簡単に説明いたします。



2つの関係は、左の図のようにお考えください。「読解力」は、「文章や資料などを読み、書き手や作成者が訴えたいことや行間の意味などを読み取る力」です。育成のための方法は、例えば、教材文を読んで、分かったことや考えたことを話し合ったり、まとめたり、報告したりする活動や、内容を説明したり活動、地図帳や統計や年表などで分かったことを話し合う活動などがあります。「RS」は、「教科学習の主たる教材である教科書や新聞、マニュアルなどを使い、文や文章のみならず、グラフや図表等の各種

資料の表現の仕方等にも注意して意味や意図を正確に読み取る力」です。育成のための方法として、例えば、本時の学習内容を音読したり、分かりにくい言葉を確認したり、定義の確認のために板書を正しく視写したりする活動などがあります。その際に6つの視点を明確にして指導するということになります。

はじめの一步が大切です。アウトプットが大切です。1日の授業の中に1つでも結構ですから、6つの視点を意識して取り組んでいただきたいと思います。

桜丘小学校・中村第一中学校校内研修会から

参考になるところは、まず実践してみてください。

◇ 桜丘小学校〈6月11日（金）実施〉

- ・ 家で音読し、わからない言葉をピックアップすることにも取り組んでいます。
- ・ 児童にとって「親密度の低い言葉」は、意図的に取り上げて、同じようにイメージ化させることが大切です。
- ・ 答えに線を引くことは、どのようなよいことがあるのか、明示的な指導をすることが大切です。
- ・ 指導したことのみで評価します。評価の回数ではありません。

◇ 中村第一中学校〈6月16日（水）実施〉

- ・ 「書く」活動は重要です。ただし、「穴埋め式」の書く活動は、キーワード読みを助長しないようにすることが大切です。
- ・ 子どもたちが書いたものは、コメントを付けてフィードバックすることが大切です。子どもたちには、アウトプットしたもの（書いたもの）に興味を持たせ、読み手を意識させてください。

そして、
今回のポイントは、
「RSTの視点で
教科書を読むこと」
です。